

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	※ 1	整理番号	3-1-003
応募テーマ	主として総合的取組に関するテーマ		
取組名称	ツイニングによる国際化への積極的取組		
申請単位	共同		
申請担当者	長友 隆 男 (芝浦工業大学)		
(取組の概要)			
<p>各大学で国際化の新たな展開をめざす中、「やってくる留学生を待つ」のではなく、私立 13 大学でコンソーシアムを組み、海外に赴き、現地でツイニング・プログラムを実施し、2 年次からの編入学で留学生を受入れているのがこのプログラムである。1997 年 6 月よりツイニング・プログラムに関する検討会を開始し、2 ヶ年 12 回に亘る会議を経て、1999 年 5 月に 13 大学学長署名による『日本マレーシア高等大学連合』を結成し、マレーシア現地にて第 1 期生を受入れ、現地教育をスタートさせた。このプログラムの最大の特徴であり、また最も苦勞した点は、現地 2 年目に大学 1 年次教育を行うことからカリキュラムの異なる 13 大学において【共通のカリキュラム・シラバス】を作成することであった。</p> <p>各大学から派遣している教員の情熱も手伝い、このプログラムは順調に進行している。現在は、マレーシアにおいて工学系のみプログラムを実施しているが、今後は他の国、また理工系以外でのプログラムの開発も視野に入れている。</p>			
(採択理由)			
<p>この取組は、マレーシアのマラ教育財団を実施機関とした円借款による工学系の日本留学事業を私立 13 大学が 1995 年にコンソーシアムを結成して、ディプロマ・コースとして現地において 2000 年から始められました。日本語 (外国語)、理数教育および工学基礎教育の教員や学生チューターを派遣して行う 2 年間のツイニング・プログラムはすでに 5 期で 300 名余が参加しています。本プログラムが他の理工系や農学系、経営系などへも適用されることが望まれます。</p>			

※ 1 芝浦工業大学、岡山理科大学、近畿大学、慶應義塾大学、拓殖大学、東海大学、東京工科大学、東京電機大学、東京理科大学、武蔵工業大学、明治大学、立命館大学、早稲田大学